

食品に関するリスクコミュニケーション
「牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る食品健康影響評価について」
（平成28年7月27日開催 札幌会場）
参加者アンケート集計結果

参加者数	:	101
アンケート回収数	:	71

問1. あなたご自身のことについてお聞きます。

(1) 性別

回答内容	件数	割合
1. 男性	58	81.7%
2. 女性	13	18.3%
無回答	0	—
計	71	100.0%

(2) 年齢

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	8	11.3%
3. 30歳代	6	8.5%
4. 40歳代	20	28.2%
5. 50歳代	21	29.6%
6. 60歳代	15	21.1%
7. 70歳代以上	1	1.4%
無回答	0	—
計	71	100.0%

(3) 職業

回答内容	件数	割合
1. 主婦（夫）	2	2.9%
2. 会社員（食品・農業関係）	14	20.0%
3. 会社員（2. 以外）	3	4.3%
4. 自営業（食品・農業関係）	0	0.0%
5. 自営業（4. 以外）	1	1.4%
6. 学生	3	4.3%
7. マスコミ関係	0	0.0%
8. 公務員・非営利団体職員	45	64.3%
9. その他	2	2.9%
無回答	1	—
計	71	100.0%

その他（）

教員
大学

(4) 意見交換会開催情報入手方法

回答内容	件数	割合
1. 食品安全委員会ホームページ	5	7.0%
2. 食品安全委員会からのご案内資料	6	8.5%
3. 食品安全委員会メールマガジン (e-マガジン)	1	1.4%
4. 自治体からのご案内資料	27	38.0%
5. 関係団体からのご案内資料	21	29.6%
6. 知人からの紹介	6	8.5%
7. その他	5	7.0%
無回答	0	—
計	71	100.0%

その他 ()

畜産日報
業界新聞
大学教授から

問2. 本日の意見交換会全般についてお聞きします。

(1) 本日の意見交換会に参加した目的

回答内容	件数	割合
1. パブリックコメントの提案の参考にするため	1	1.6%
2. 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直しに係る評価結果に興味があった	20	32.3%
3. 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策に興味があった	8	12.9%
4. 食品の安全性について知識を得たかった	2	3.2%
5. 専門的な内容について、分かりやすい説明を聞いたかった	8	12.9%
6. 疑問のある点について質問したかった	1	1.6%
7. 専門家・他の参加者と意見・情報の交換をしたかった	1	1.6%
8. 業務上必要だった	21	33.9%
9. その他 (具体的に)	0	0.0%
無回答	9	—
計	71	100.0%

その他 ()

(2) 満足度

回答内容	件数	割合
1. 十分満足した	18	25.7%
2. ほぼ満足した	50	71.4%
3. あまり満足できなかった	2	2.9%
4. まったく満足できなかった	0	0.0%
無回答	1	—
計	71	100.0%

(3) 「あまり／まったく満足できなかった」と答えた方に伺います。

満足できなかった理由 (具体的に)

説明はわかりやすく大変よかったです、しかし消費者とのリスクコミュニケーションは場と面々をそろえるだけで、またHPで数値を出すだけで「安心」や理解や信頼は生まれないと感じています。
・肉は安全と言っていましたが、脳は食べていないと言っていますが、30か月以下の牛の脳は食品として流通していると思います。BSE検査の廃止とともにSRMの取り扱いをしっかりと評価してほしい。
・BSEに感染した肉骨粉は流通していません。使用も検討してほしい。

(4) 本日の意見交換会の進め方について

a. 意見交換会の進め方

回答内容	件数	割合
1. 良い	20	29.9%
2. おおむね良い	45	67.2%
3. あまり良くない	2	3.0%
4. 良くない	0	0.0%
無回答	4	—
計	71	100.0%

b. 配布資料の分かりやすさ

回答内容	件数	割合
1. 分かりやすい	43	64.2%
2. やや分かりやすい	20	29.9%
3. やや分かりにくい	4	6.0%
4. 分かりにくい	0	0.0%
無回答	4	—
計	71	100.0%

問3. 本日の意見交換会の内容について理解できましたか。

回答内容	件数	割合
1. 十分理解できた	22	32.4%
2. ほぼ理解できた	46	67.6%
3. あまり理解できなかった	0	0.0%
4. まったく理解できなかった	0	0.0%
無回答	3	—
計	71	100.0%

問4. 本日の意見交換会に参加される前に疑問に思っておられたこと等は明確になりましたか。

回答内容	件数	割合
1. とても明確になった	11	16.4%
2. ほぼ明確になった	56	83.6%
3. あまり明確にはならなかった	0	0.0%
4. まったく明確にはならなかった	0	0.0%
無回答	4	—
計	71	100.0%

問5. 本日の意見交換会に関するご意見をご自由にお書きください。

今後意見の取りまとめ、評価結果の通知（厚労省）が行われる日程、検査見直しについて検討日程等、各スケジュールが決定した場合、今回のようなアナウンス及び報告の場を設けて頂きたい。
確率が高ければ別だが、何事にもゼロリスクを求めても仕方がない。しかし非定型BSEについては不明な点が多いので、今後とも引き続き研究は必要で、その情報の提供も必要。
今回参加して有意義でした。資料も説明も分かりやすかったです。SRMについてこれからも慎重に対処していただきたいと思います。
知識なしの私でも理解できてわかりやすかった。
消費者に話すときは、自分の親に話すつもりで話した方が良いと思う。
非定型についてよくわかった
良いリスコミでした。
もう少し、生産者及び流通業者の意見を聞きたかった。
大変良かったです。
「生体検査において、24か月齢以上・・・のBSE検査が行われている」といった旨が記載されていたが、その検査実績の説明がされる必要があるのでは・・・
特にありません。
特にありません。お疲れ様でした。
EUではBSEの発生が続いているにも関わらず、日本より早い段階でBSEの検査対象等の見直しを実施していますが、EUと日本のこのタイムラグには何か理由があるのでしょうか。
死体検査への影響を知りたかった
短い時間でしたが、普段とは別の業界の方々の意見を聞くことができ、非常に興味深かったです。
<ul style="list-style-type: none">・ 今回の説明や意見交換についてはほぼよかった。・ 規制ができていない結果、BSEが発生していないというところは、今後も緩まないようにリスク管理の部分でやってほしいと思った。・ 評価・管理部門からそれぞれ説明者が出て質疑応答がされ、良かった。・ 国民にわかりやすく説明、コミュニケーションができる機会を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none">・ 高リスク牛検査を全面に出してリスコミすると、やはり飼料での規制を強めに説明すべき。・ 非提携BSEについて48か月齢以上の検査を外してもリスクに差がないことを図示できるとよいのでは？
出生コホートの資料がわかりにくい